

「食の介護」気軽に相談

お茶をしながら食に関する介護の疑問や悩みを相談できる「立ち寄り『食』相談カフェ」が、山形市長町1丁目にオープンした。介護者同士の交流の場としても役立つ。

食べる機能が低下した高齢者がいる家庭などを訪問し、食事介助と調理トレーニングを行う一般社団法人「ゆにしあ」（山形市、池田百合子代表理事）が今月3日に開設。2階建て延べ約60平方メートルの住宅を借り、1階のリビングダイニングスペースを開放している。

管理栄養士の資格を持つスタッフらが、退院後の食事や、とろみ剤の使い方など、介護食に関する悩みや相談に応じる。今月下旬からは介護者同士の仲間づくりに向けて、5人グループによる食事トレーニング教室を定期的に開く予定だ。

仲間づくりの場にも

相談カフェは、昨年度に県の助成を受け、コミュニケーションセンターなどで食事介助と調理のトレーニング教室を初めて開催したことがきっかけで開設された。自由におしゃべりできる時間を設けたところ、介護の悩みなどについて予想以上に話し合いが続く「相談できる時間が良かった」。「介護者同士で継続して集まれる場がほしい」などの声が寄せられた。

秋葉恵理事業統括マネジャーは「相談する中で問題が見えてくるケースもある。内容に応じて各専門家を紹介することもできるので、介護している家族だけで悩まずに気軽に相談してほしい」と話している。

相談は基本的に平日午前10時～午後5時。1回1時間程度で相談料は500円（ドリンク付き）。予約が必要。問い合わせはゆにしあ023(696)6244。

記者の目

お茶してみても

淡い緑色系のカーテンに木のダイニングテーブル。「相談所」という堅いイメージとは正反対のアットホームな雰囲気だ。介護の問題は一筋縄ではないが、誰かに相談してみるのも一考。相談料もドリンク付きなら安い。たまにはこんな「カフェ」でお茶してみても。

秋葉恵理事業統括マネジャー（左）らゆにしあスタッフが相談に応じる「立ち寄り『食』相談カフェ」＝山形市長町1丁目

